

2011年11月4日 (No.11-01)

FIVB ワールドカップバレーボール 2011 開幕

2011 年度第 5 回理事会(定例) 開催



●FIVB ワールドカップバレーボール 2011 開幕

FIVB ワールドカップバレーボール 2011 が 11 月 4 日(金)から開幕します。10 月 31 日にはFIVB CC メンバーと JVA 実行委員会メンバーが一堂に会したジョイント会議が開かれ、競技運営ほか大会開催を前に最終的な確認が行われました。(CC=Control Committee)

会議の冒頭、女子大会の MEYER CC President から、「大会まで数々の問題を乗り越え、今日の日を迎えることができました。JVA をはじめ開催地の関係各位のご努力に敬意を表します。」との挨拶がありました。



これに応じて中野泰三郎会長は、「東日本大震災という未曾有の出来事の影響で大会開催までに困難な問題が山積されていたこと、当初開催予定の宮城県及び急きょ開催を引き受けていただいた広島県の両バレーボール協会をはじめ関係者のご理解とご協力に感謝申し上げること、魏(ウエイ)FIVB 会長が開催中止となった仙台市を7月に訪ねていただいたこと等々、開催までに多くの関係者にご尽力いただいております。是非とも本大会を成功させるため、来日した FIVB 役員のご協力をお願いします。」と歓迎の言葉を述べました。

本大会の男女上位 3 チームには、2012 年ロンドンオリンピックの出場権が与えられます。日本チームの対戦カードは次のとおりです。

全試合の日程等の詳細は、JVA WEB サイトをご参照ください。[\(http://vbworldcup.jp/\)](http://vbworldcup.jp/)

女子大会		男子大会	
対戦日	対戦カード	対戦日	対戦カード
11月 4日(金)・広島	日本 VS イタリア	11月20日(日)・名古屋	日本 VS イラン
11月 5日(土)・広島	日本 VS アルゼンチン	11月21日(月)・名古屋	日本 VS アルゼンチン
11月 6日(日)・広島	日本 VS 中国	11月22日(火)・名古屋	日本 VS キューバ
11月 8日(火)・広島	日本 VS アルジェリア	11月24日(木)・大阪	日本 VS セルビア
11月 9日(水)・広島	日本 VS ドミニカ共和国	11月25日(金)・大阪	日本 VS ポーランド
11月11日(金)・札幌	日本 VS セルビア	11月27日(日)・福岡	日本 VS エジプト
11月12日(土)・札幌	日本 VS 韓国	11月28日(月)・福岡	日本 VS 中国
11月13日(日)・札幌	日本 VS ブラジル	11月29日(火)・福岡	日本 VS アメリカ
11月16日(水)・東京	日本 VS ケニア	12月 2日(金)・東京	日本 VS ロシア
11月17日(木)・東京	日本 VS ドイツ	12月 3日(土)・東京	日本 VS イタリア
11月18日(金)・東京	日本 VS アメリカ	12月 4日(金)・東京	日本 VS ブラジル

※この大会を 35 年間超の長い間バレーボール界の発展にご尽力いただいた故山岸紀郎さんに捧げます。

●ワールドカップ全日本女子メンバー

チームマネージャー 荒木田裕子

監督 眞鍋 政義

コーチ 安保 澄 川北 元 大久保茂和 山口 祐之

トレーナー 若宮 啓司 甲谷 洋祐 マネージャー 宮崎さとみ アナリスト 渡辺 啓太
選手

②中道 瞳(東レ) ③竹下 佳江(JT) ⑥佐野 優子(I.B) ⑦山口 舞(岡山)

⑧座安 琴希(久光) ⑨石田 瑞穂(久光) ⑩岩坂 名奈(久光) ⑪荒木絵里香(東レ)

⑫木村 沙織(東レ) ⑬新鍋 理沙(久光) ⑭江畑 幸子(日立) ⑮狩野 舞子(Bes)

⑯迫田さおり(東レ) ⑰森 和代(岡山) (以上選手 14 名)

* 東レ=東レアローズ、JT=JTマーヴェラス、I.B=Igtisadchi Baku、岡山=岡山シーガルズ、久光=久光製薬スプリングス、日立=日立リヴァーレ、Bes=Besiktas を表します。

●ワールドカップ全日本男子メンバー

チームマネージャー 鳥羽 賢二

監督 植田 辰哉

コーチ 中垣内祐一 諸隈 直樹

トレーナー 大石 博暁 広報兼マネージャー 渡辺圭太郎

アナリスト 山田 剛久

選手

①北島 武(堺) ②阿部 裕太(東レ) ③永野 健(パナ) ④菅 直哉(JT)

⑤宇佐美大輔(パナ) ⑥鈴木 寛史(サン) ⑦山本 隆弘(パナ) ⑧横田 一義(堺)

⑨富松 崇彰(東レ) ⑩田辺 修(東レ) ⑪松本 慶彦(堺) ⑫山村 宏太(サン)

⑬清水 邦広(パナ) ⑭福澤 達哉(パナ) ⑮八子 大輔(JT) ⑯石島 雄介(堺)

⑰越川 優(PVP) ⑱米山 裕太(東レ) ⑲栗山 雅史(サン) ⑳出未田 敬(筑波)

(以上選手 20 名)

* 堺=堺ブレイザーズ、東レ=東レアローズ、パナ=パナソニックパナソーズ、JT=JTサンダーズ、サン=サントリーサンバーズ、PVP=Palla Volo PADOVA、筑波=筑波大学を表します。

* この 20 名から大会開催 48 時間前までに出場選手 14 名が選出されます。

●2011 年度第 5 回理事会(定例)について

2011 年 10 月 19 日(水)にJVA事務局会議室で開催された 2011 年度第5回理事会(定例)の概要をお知らせします。

<決議事項>

●第2期(2011 年度)補正予算について

第2期(2011 年 4 月1日から 2012 年 3 月 31 日まで)の当初予算は、収入 31 億 2,997 万 7 千円、支出 31 億 6,545 万 6 千円、当期一般正味財産減少額(赤字額)3,547 万 9 千円で編成いたしました。

当初予算編成後の 3 月 11 日に東日本大震災が起きました。この震災は未曾有の出来事ただけに、本会諸事業にも多大な影響を受け、上半期を終了した 9 月末時点の収支は 1 億 5,958 万 3 千円の赤字(前年度実績は 1 億 1,304 万 4 千円の黒字)でした。この結果、補正予算編成を余儀なくされる事態となりました。

補正編成の内容は次のとおりです。収入の主なものでは、協賛金の獲得見込み違いによる減額が 5,315 万円、東日本大震災によるVプレミアリーグファイナル開催中止、ワールドリーグ日本開催中止等に起因する入場料収入の減額が 1 億 436 万 9 千円、東日本大震災に対する支援要求(増額要求)交渉不成立による FIVB ワールドカップ業務受託料ほかによる減額が 7,841 万 2 千円となり、これらを合わせた減額合計を 2 億 1,955 万 4 千円とし、収入合計は 29 億 1,042 万 3 千円を計上いたしました。支出の主なものでは、ワールドリーグ日本開催中止によりホームゲームがすべてアウェーゲームとなったため日本選手団の海外派遣費の増額が 2,724 万 8 千円、全国大会開催経費増額が 2,719 万 2 千円、減額はワールドリーグ日本開催中止による開催経費及びワールドカップ開催経費見直し等で 1 億 7,516 万 7 千円、Vプレミアリーグファイナル中止による開催経費減額が 1,718 万 6 千円、このほか諸々の経費削減を合わせた減額合計を 1 億 5,429 万 5 千円とし、支出合

計は30億1,116万1千円を計上しました。この結果、補正による当期一般正味財産減少額(赤字額)は1億73万8千円となります。補正後の支出予算の内訳は、競技力向上事業費5億5,229万2千円、国際大会開催・国際貢献事業費16億191万円、講習会指導者等養成事業費5,783万2千円、全国大会開催事業費4億1,773万2千円、マーケティング事業費8,197万6千円、用具等公認、公認品販売事業費2,075万9千円、Vリーグ等開催事業費が8,909万4千円、地域グループ育成事業費2,943万8千円、管理費1億6,005万8千円となります。

今回の補正予算では1億73万8千円の赤字予算といたしましたが、残す下期6カ月間で赤字額の減少に努力しなくてはなりません。特にワールドカップの入場券拡販には衆知を結集して努力いたしますので、関係各位におかれましては何卒ご協力をお願い申し上げます。

補正予算の詳細は、JVA WEB サイトをご参照ください。(http://www.jva.or.jp/jva/project.html)

●事務局規程の改定について

2月1日の公益法人設立に併せJVA諸規程の見直しを行ってまいりましたが、今回は事務局の業務分掌や諸案件の決裁プロセスを定めた事務局規程の改定を行いました。

改定後の事務局各事業部の所管業務及び担当者は以下のようになりました。

強化事業部／本部長・森田淳悟業務執行理事、事業部長・三浦純子、部員・金台美枝子、照沼佑介、

主な所管業務

- ・選手強化に関する事
- ・医科学サポートに関する事
- ・アンチ・ドーピングに関する事
- ・ナショナルトレーニングセンターに関する事

国内事業部／本部長・下山隆志業務執行理事、事業部長・斎藤聖二、部員・中野淳子、鈴木克宜

主な所管業務

- ・JVAが主催する国内競技大会に関する事
- ・JVAメンバー制度に関する事
- ・指導普及関連事業に関する事
- ・審判規則関連事業に関する事
- ・加盟団体に対する助成金等の交付及び支出の適正化に関する事
- ・用具の公認、推薦、検定に関する事

国際事業部／本部長・羽牟裕一郎業務執行理事、副本部長・小島和行業務執行理事、事業部長・

小田桐隆司、副事業部長・灰西克博、部員・鈴木宏美、藤野隆弘

主な所管業務

- ・国内で行われるFIVB主催大会開催に関する事
- ・国内で行われるAVC主催大会開催に関する事
- ・FIVB及びAVCに対する連絡調整に関する事
- ・国際スポーツ交流に関する事

M&M(マーケティング&マーチャндаイジング)事業部／本部長兼事業部長・豊原祥徳業務執行理事、部員・今

枝真弓、天野絵美

主な所管業務

- ・マーケティングにかかる企画・立案及び実施に関する事
- ・マーケティングかかる加盟団体、関係企業等との連絡調整並びに情報収集に関する事
- ・ルールブックほか刊行物及びJVA公式グッズほか公認物品の商品開発に関する事
- ・公認物品、用具公認・検定証、商標、放映権ほか無体財産の販売に関する事

業務推進事業部／本部長・岩満一臣業務執行理事、副本部長兼事業部長・五十嵐三夫業務執行理事、

業務推進担当・橋口陽一業務執行理事、副事業部長・荻野明江、部員・江原摩耶、

平澤梓乃(広報)、野上みや子

主な所管業務

- ・法務、定款ほか諸規程、文書に関する事
- ・評議員会、理事会、加盟団体代表委員総会の開催準備、会議資料作成に関する事

- ・内閣府公益認定等委員会、文部科学省、日体協、JOCほか関係団体への事業計画、事業報告、予算、決算の届け出に関すること
 - ・JVAが保有する商標管理に関すること
 - ・表彰及び慶弔に関すること
 - ・個人情報管理に関すること
 - ・経理、予算、決算、財産、税務に関すること
 - ・外部会計監査、JVA監事による会計・業務監査に関すること
 - ・現金、預金、郵便切手その他有価証券等の管理及び出納に関すること
 - ・契約書ほか重要書類の保管に関すること
 - ・財産及び物品の管理に関すること
- (以下は橋口業務執行理事及び広報担当)
- ・広報活動の企画・PRに関すること
 - ・広報刊行物及びインターネットに関すること
 - ・メディア諸機関に対する発表内容の整理と連絡調整に関すること
 - ・大会記録ほか各種資料の整理、保管に関すること
 - ・加盟団体、各種大会実行委員会の広報・報道等に対する協力に関すること

<報告事項>

●第2四半期職務執行報告について

中野会長のほか8名の業務執行理事から第2四半期における職務執行報告が行われました。この職務執行報告は法令に基づくものであり、今後四半期ごとに開催される定例理事会で毎回行われます。

新法人設立後、最初の職務執行報告でしたが、ワールドカップ 2015、2019 の誘致活動、AVC総会、アジア選手権、東日本大震災復旧復興支援活動、国民体育大会におけるビーチバレーの正式種目化への取り組み、JVAオフィシャルスポンサーへのプロモート作業、ワールドカップ開催準備作業、ワールドグランプリ開催、諸規程の改定作業ほかについて担当業務執行理事からの報告が行われました。

■会務のお知らせ

●全国ブロック理事長会の開催について

新法人の新しい組織である全国ブロック理事長会が、7月11日(第1回)と9月30日(第2回)にJVA事務局会議室にて開催されました。この全国ブロック理事長会は、JVAと都道府県協会の連携に資することを目的とした組織であり、JVA理事会から諮問を受けた案件を審議し、理事会に意見を具申する役割を担う組織として発足したものです。

メンバーは北海道ブロック紺屋正雄理事長、東北ブロック横屋敏夫理事長、関東ブロック大塚慶二郎理事長、北信越ブロック長谷川吉秋理事長、東海ブロック土屋信二理事長、近畿ブロック藤井重機理事長、中国ブロック下村英士理事長、四国ブロック宮川隆理事長、九州ブロック野中修身理事長です。

JVAからは岩満事務局長、下山国内事業本部長ほか案件により各事業本部長が出席いたします。

第1回は全国ブロック理事長会を立ち上げた意義ほか、第2回は各ブロックの活動状況、登録チーム・選手数の拡大ほかについて討議されました。

発行・公益財団法人日本バレーボール協会
電話・03-5786-2100 FAX・03-5786-2109

発行人・業務執行理事事務局長 岩満 一臣
Email・generalaffairs@jva.or.jp